CKD

SM－288464

取 扱 説 明 書

FRユニット

B7019

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

CKD株式会社

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格　JIS B 8370　空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

⚠ 注意

- フィルタ、ルブリケータはプラスチックボウルを使用していますので、有機溶剤等の雰囲気では絶対に使用しないでください。ボウル破損の危険があります。有機溶剤の雰囲気ではメタルボウルをご使用ください。

- フィルタ、ルブリケータを保守・メンテ等される場合は、製品内の圧力を抜いて残圧が、完全に残っていないことを確認した後に実施してください。

目　次

B7019

FRユニット

取扱説明書 No.　SM-288464

1.　取付けに関する事項

1.1　取付け上の注意事項……1

2.　操作に関する事項

2.1　アジャスティングノブの注意事項……3

3.　保守に関する事項

2.1　保守上の注意事項……4

１．１ 取付上の注意事項

１）エアの流れが、ＩＮから入るように配管してください。

２）フィルタのボウルが、下側になるように配管してください。

３）接続口径は、なるべく配管径と同じものをご使用ください。

４）使用される空気圧機器のできるだけ近くに取付けてください。

５）分解掃除の際、ボウルが取りはずせるようにボウルの下を４０ｍｍ以上あけておいてください。

６）圧力計は見やすい側に取付けてください。反対側の孔はプラグでふさいでください。

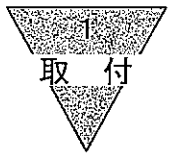
７）一次側圧力が、１．０ＭＰａ以上にならないようにしてください。
アジャスティングノブを右にまわすと、二次側圧力は高くなり、左にまわすと低くなります。

８）周囲温度が６５℃以上になる場所での使用は避けてください。

９）プラスチックボウル製品の場合有機薬品等の雰囲気または付着する場所では、絶対に使用しないでください。

> ⚠ **警告**
>
> 有機薬品・化学薬品等の雰囲気または付着する場所での使用は、できません。
> ボウル破損の危険があり事故につながる場合があります。

なお、ボウルの耐薬品性については、事項の表を参照してください。



⚠注意　透明樹脂ボウルの耐薬品性

下記の化学薬品の雰囲気がある場所では、メタルボウル（金属製）をご使用願います。

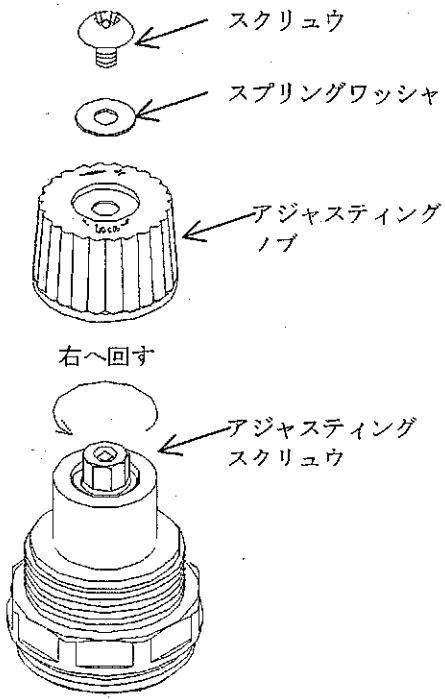
なお、検査液、シール剤、接着剤にも下記化学成分を含んだものがあるため選定時確認願います。

化学薬品の種類	化学薬品の分類	化学薬品の主な製品	一般的な使用例	ポリカーボネイト	ナイロン
無機薬品	酸	塩酸・硫酸・フッ素・リン酸・クロム酸等	金属の酸洗い液・酸性脱脂液・皮膜処理液等	×	×
	アルカリ	カ性ソーダ・カ性カリ・消石灰・アンモニア水・炭酸ソーダ等アルカリ物質	金属のアルカリ性脱脂液・水溶性切削油剤・漏れ検知剤	×	○
	無機塩	硫化ソーダ・硝酸カリ・重クロム酸カリ・硫酸ソーダ等	メッキ用途	×	○
有機薬品	芳香族炭化水素	ベンゼン・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン等	塗料のシンナーに含有（ベンゼン・トルエン・キシレン）	×	×
	塩素化脂肪族炭化水素	塩化メチル・塩化エチレン・塩化メチレン・塩化アセチレン・クロロホルム・トリクレン・パークレン・四塩化炭素	金属の有機溶剤系の洗浄液（トリクレン・パークレン・四塩化炭素等）	×	○
	塩素化芳香族炭化水素	クロルベンゼン・シクロルベンゼン・六塩化ベンゼン（B・H・C）等	農薬	×	○
	石油成分	ソルベントナフサ・ガソリン・灯油	金属の脱脂	×	○
	アルコール	メチルアルコール・エチルアルコール・シクロヘキサノール・ベンジルアルコール	凍結防止剤として使用 漏れ検知剤	×	×
	フェノール	石炭酸・クレゾール・ナフトール等	消毒液・フェノール樹脂の原料	×	×
	エーテル	メチルエーテル・メチルエチルエーテル・エチルエーテル	ブレーキ油の添加剤	×	○
	ケトン	アセトン・メチルエチルケトン・シクロヘキサノン・アセトフェイン等		×	×
	カルボン酸	ギ酸・酢酸・プチル酸・アクリル酸・シュウ酸・フタル酸等	染色剤・シュウ酸はアルミの処理剤、フタル酸は塗料の基材として使用・漏れ検知剤	×	×
	エステル	フタル酸ジメチル（DMP）・フタル酸ジエチル（DEP）・フタル酸ジプチル（DBP）・フタル酸ジオクチル（DOP）	潤滑油・合成作動油・防さび油の添加剤合成樹脂の可塑剤として利用	×	○
	オキシ酸	グリコール酸・乳酸・リンゴ酸・クエン酸・酒石酸	食品等の添加剤	×	×
	ニトロ化合物	ニトロメタン・ニトロエタン・ニトロエチレン・ニトロベンゼン等		×	○
	アミン	メチルアミン・ジメチルアミン・エチルアミン・アニリン・アセトアニリド等	ブレーキ油の添加剤 帯電防止剤・プラスチック染料	×	×
	ニトリル	アセトニトリル・アクリロニトリル・ベンズニトリル・アセトイソニトリル等	ニトリルゴムの原料	×	○

ポリカーボネイトボウル：無色透明

ナイロンボウル　　：着色（緑色）透明

2．　アジャスティングノブの取扱い注意事項



（1）スクリュウは、組付けの際仮り締め付けですから、圧力調整後は、振動などによる圧力変動をなくすために、スクリュウを固く締め付けて下さい。常時、圧力調整をされる場合は、アジャスティングノブが軽く回る程度に締め付けて下さい。

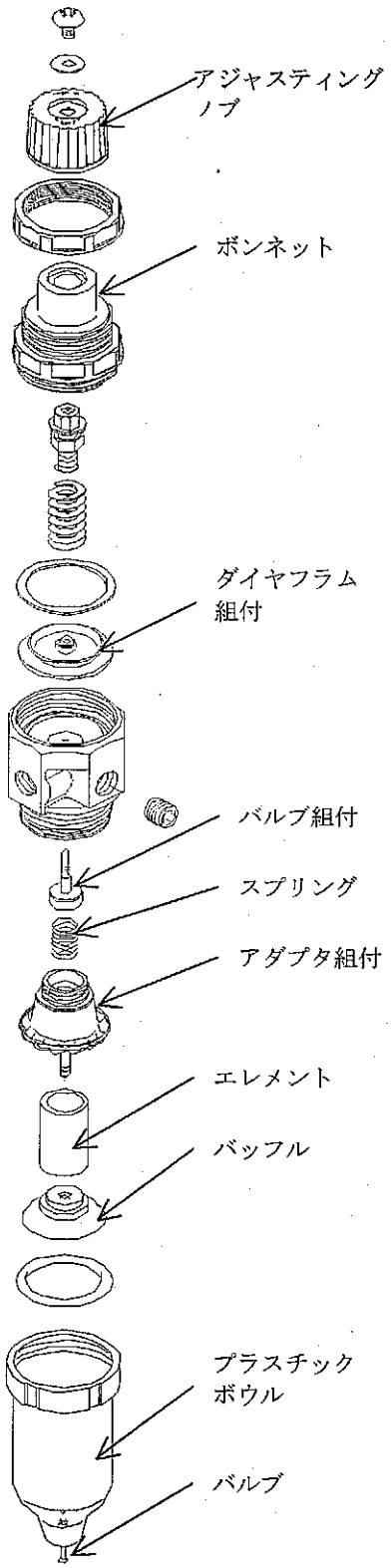
（2）アジャスティングノブは、左へいっぱい回しますと、ロックする恐れがありますので、圧力を０にされる場合は、アジャスティングノブは、固くなるまで回さないで下さい。

もし、アジャスティングノブがロックした場合は次のようにして下さい。

a）スクリュウをはずし、アジャスティングノブを取りはずす。

b）アジャスティングスクリュウをスパナにて、右へ回しロックをはずして下さい。

3．保守上の注意事項



1）ボウル内のドレンは、バッフルに達する前に必ず排出してください。ボウル底部のバルブを上へ押すことによりドレンは排出されます。

2）エレメントを洗浄されるときは、灯油で洗浄後、湯洗いをしてください。洗浄後は水分を内側よりエアで吹きとばしてください。

3）プラスチックボウルを洗浄されるときは、家庭用中性洗剤で洗浄してください。
その他の洗剤は絶対に使用しないで下さい

4）分解の際は次の手順で行ってください。
ａ）エアの供給を止める
ｂ）アジャスティングノブを左にいっぱい回して完全にゆるめる。
ｃ）ボンネットをスパナでゆるめて取りはずす。
ｄ）ダイヤフラム組付けを取りはずす。
ｅ）プラスチックボウルをゆるめて取る。
ｆ）バッフルを下へ引張って、エレメントを分解する。
ｇ）アダプター組付をゆるめて、スプリング、バルブ組付を取りはずす。

5）圧力調整ができなくなったり、圧力降下が著しくなった場合は次の手順で点検してください。
ａ）プラスチックボウル、バッフル、エレメントを分解する。
ｂ）アダプター組付をゆるめて、スプリング、バルブ組付けを取りはずす。
ｃ）バルブ組付を洗浄して傷を調べる。

6）リリーフポートから多量のエアがもれる場合は次の点を調べてください。
ａ）この場合は、ダイヤフラム組付、バルブ組付のゴム部分の傷及びゴミの付着等を調べる。